

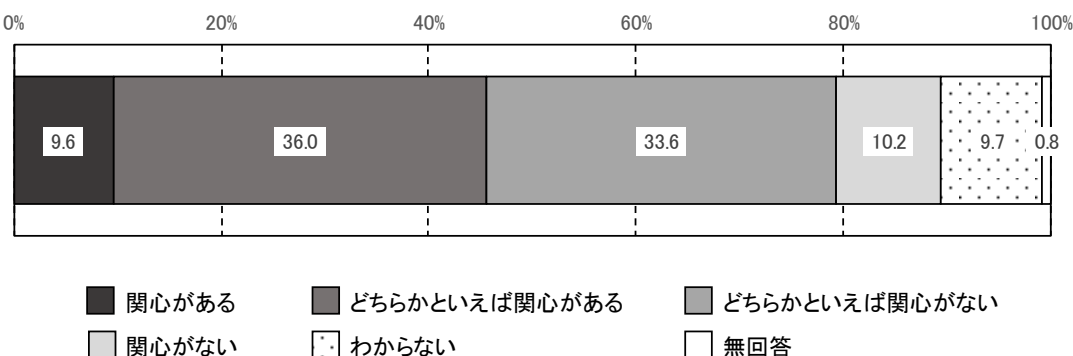
問9 県事業への関心の有無

問9 あなたは、岐阜県が行っている事業やその進め方について、関心をお持ちですか。
(1つだけ)

全体(図9-1)でみると、「どちらかといえば関心がある」が36.0%と最も高く、次いで「どちらかとかえれば関心がない」(33.6%)、「関心がない」(10.2%)の順となっている。

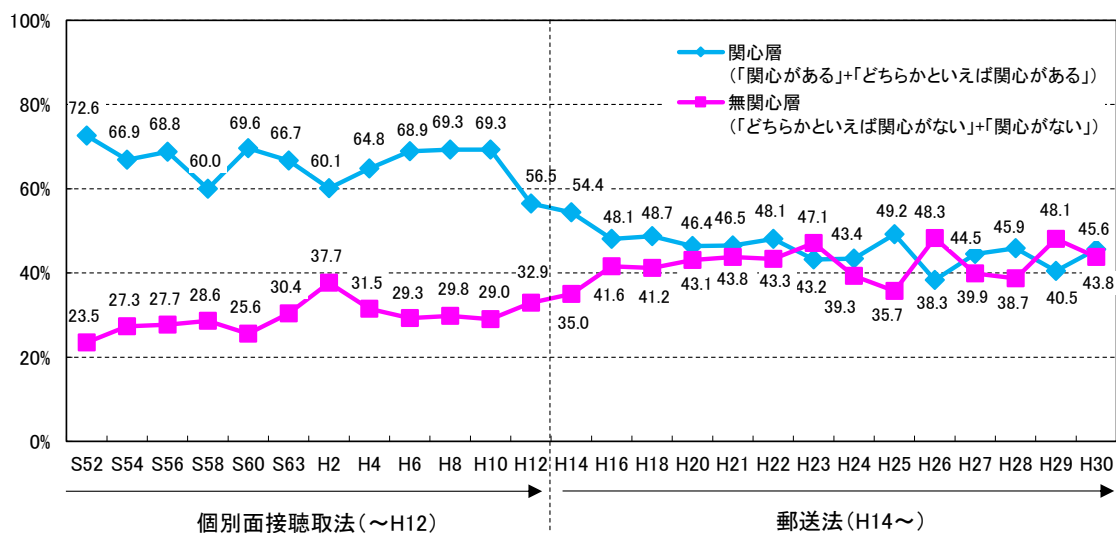
図9-1 県事業への関心の有無

回答者数(n = 1,436)



経年変化(図9-2)でみると、前回に比べて「関心層」(「関心がある」+「どちらかといえば関心がある」)は5.1ポイント増加し、「無関心層」(「どちらかといえば関心がない」+「関心がない」)は4.3ポイント減少しており、「関心層」が「無関心層」を逆転している。

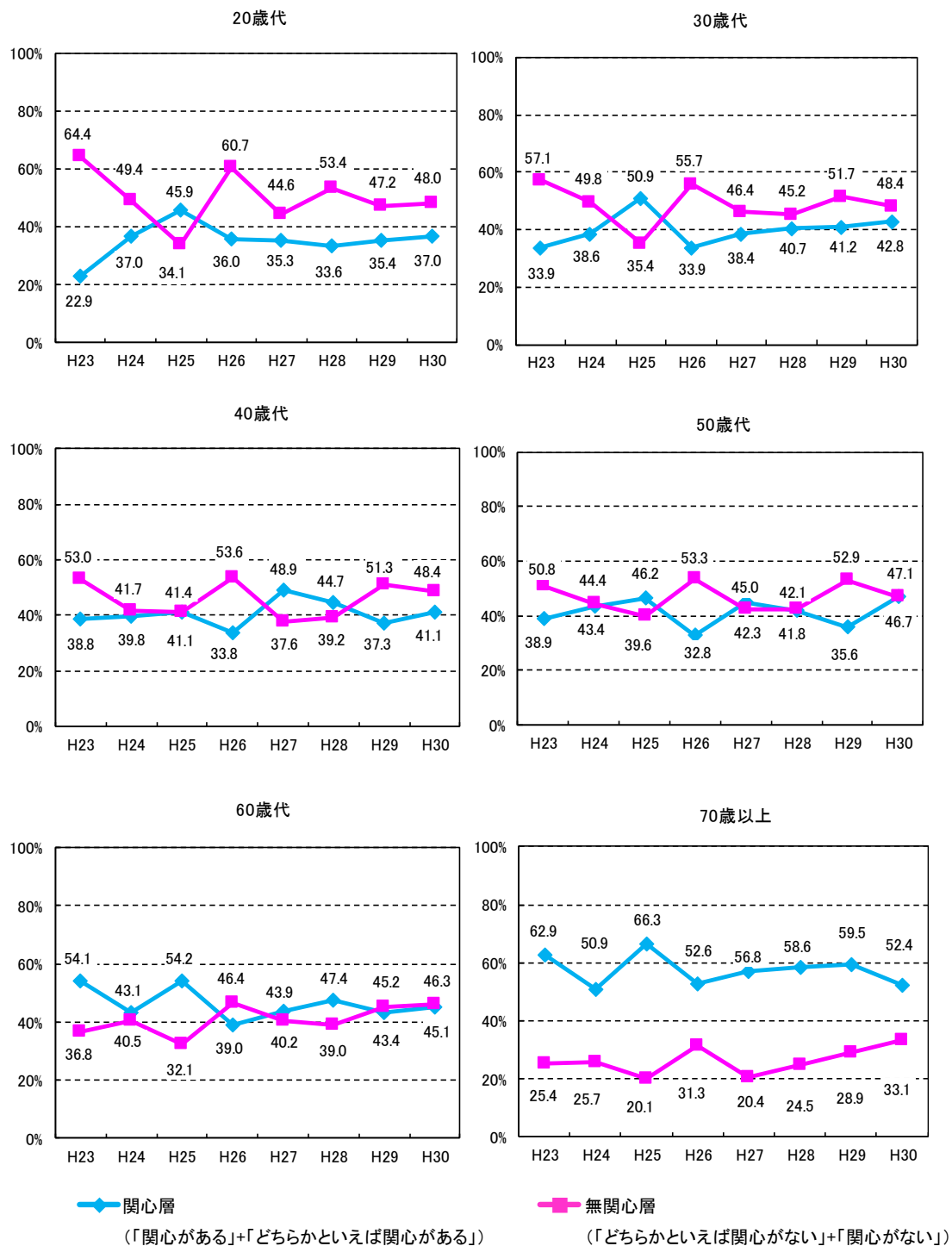
図9-2【経年変化】県事業への関心の有無



※ 調査方法:平成12年度まで個別面接聴取法、平成14年度から郵送法

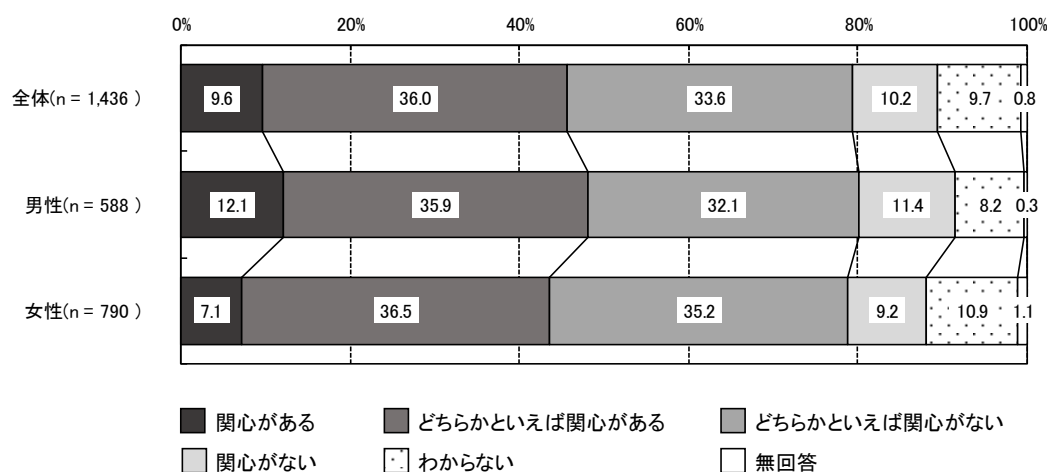
年代別の経年変化（図 9-3）でみると、前回に比べ、70 歳以上を除いたいずれの年代でも「関心層」が増加した。70 歳以上では一貫して「関心層」が「無関心層」より高くなっていくが、「関心層」が 7.1 ポイント減少した。

図 9-3 【経年変化(年代別)】 県事業への関心の有無



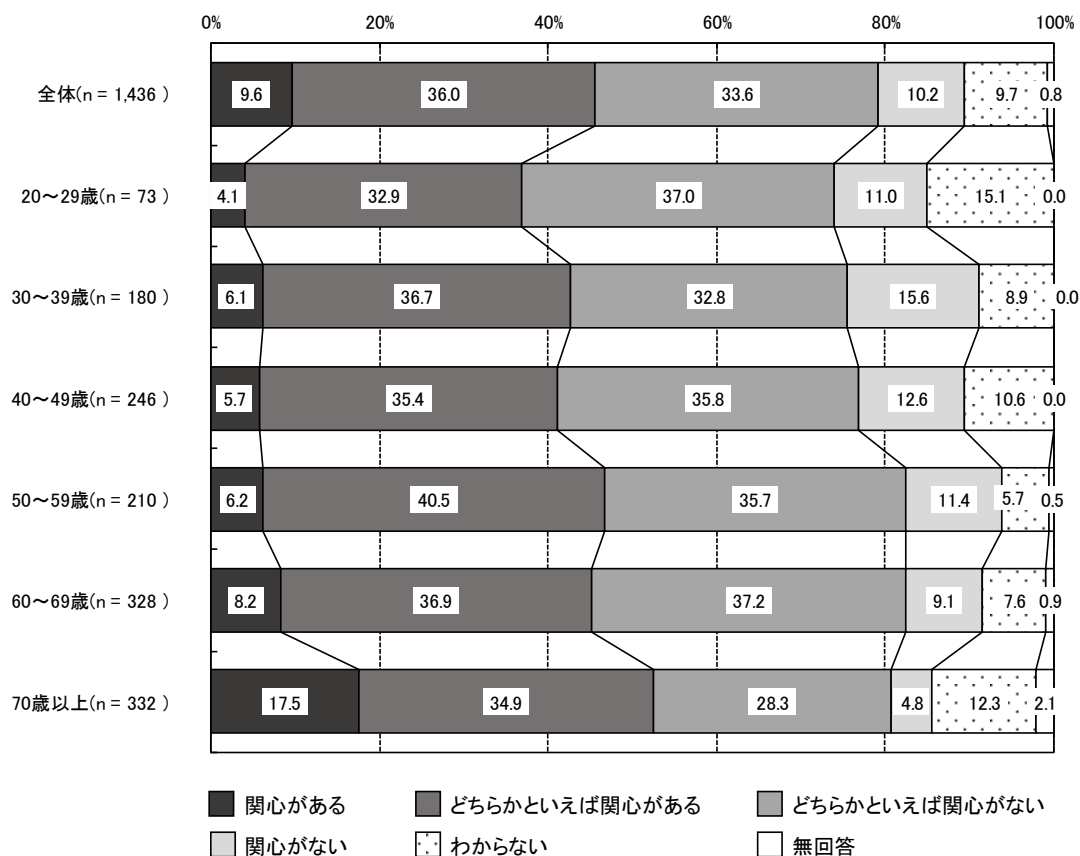
性別（図 9-4）でみると、男女ともに「どちらかといえば関心がある」が最も高くなっており、次いで「どちらかといえば関心がない」となっている。「関心がある」では、男性が女性より 5 ポイント高くなっている。

図 9-4 【性別】 県事業への関心の有無



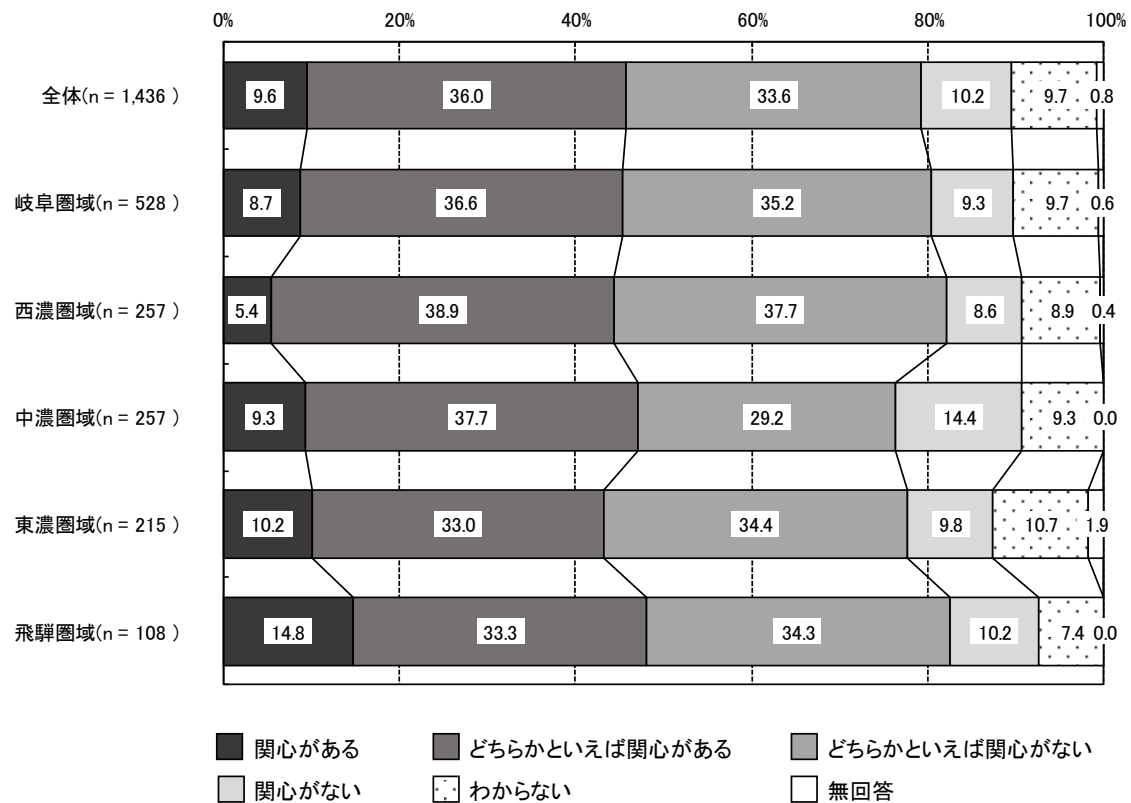
年代別（図 9-5）でみると、30 歳代、50 歳代、70 歳以上で「どちらかといえば関心がある」が最も高く、そのうち 50 歳代が 40.5%と最も高くなっている。20 歳代、40 歳代、60 歳代では「どちらかといえば関心がない」が最も高く、そのうち 60 歳代が 37.2%と最も高くなっている。「関心がある」では 70 歳以上が 17.5%と他の年代と比べて高くなっている。

図 9-5 【年代別】 県事業への関心の有無



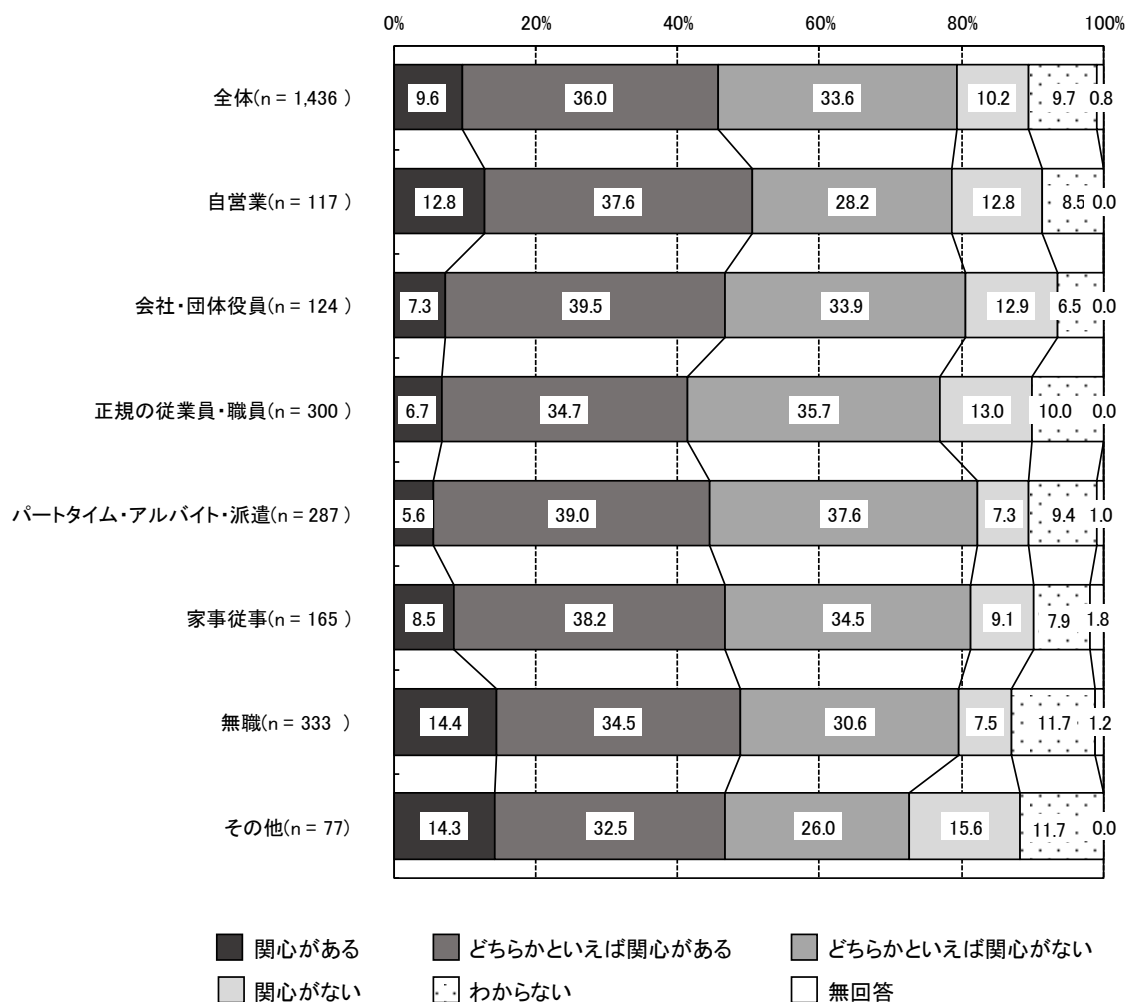
居住圏域別（図 9-6）でみると、岐阜圏域、西濃圏域、中濃圏域においては「どちらかといえは関心がある」が最も高く、そのうち西濃圏域が 38.9%と最も高くなっている。東濃圏域、飛騨圏域においては、「どちらかといえは関心がない」が最も高くなっている。

図 9-6 【居住圏域別】 県事業への関心の有無



職業別（図 9-7）でみると、正規の従業員・職員を除くいずれの職業においても「どちらかといえば関心がある」が最も高く、そのうち会社・団体役員が 39.5%と最も高くなっている。正規の従業員・職員では「どちらかといえば関心がない」が 35.7%と最も高くなっている。

図 9-7 【職業別】 県事業への関心の有無



※ その他には、自由業、学生を含む